

# 季刊 理論經濟學

第VI卷

1955年12月

第1,2号

特集

## レオンティエフ体系

- レオンティエフ分析における二・三の問題点 家本秀太郎
- 投入産出分析と生産の一般均衡 森嶋通夫
- 投入産出分析の今後の動向 古谷弘
- ・ 産業連関分析に関する三つの覚書 市村真一・杉浦一平
- 平価切下げと国際収支 小宮隆太郎
- ・ 投入産出モデルと市場機構 福岡正夫
- ・ レオンティエフ体系における消費・投資および経済成長 ✓ 荒憲治郎
- レオンティエフ体系における均衡値問題 稲田歎一
- レオンティエフ体系におけるマトリックス 寺尾琢磨・尾崎巖
- Econometricsの方法について 鈴木諒一

昭和二十四年十二月九日 日本国有鉄道特別授受雑誌第一五〇八号

東洋経済新報社

論 文

- レオンティエフ分析における二・三の問題点…………… 家本秀太郎 (1)  
投入産出分析と生産の一般均衡…………… 森嶋通夫 (8)  
投入産出分析の今後の動向…………… 古谷弘 (15)  
産業連関分析に関する三つの覚書…………… 市村真一・杉浦一平 (23)  
平価切下げと国際収支…………… 小宮隆太郎 (33)  
投入産出モデルと市場機構…………… 福岡正夫 (46)  
レオンティエフ体系における消費・投資および経済成長…………… 荒憲治郎 (55)  
レオンティエフ体系における均衡値問題…………… 稲田獻一 (65)  
レオンティエフ体系におけるマトリックス…………… 寺尾琢磨・尾崎巖 (74)

書 評

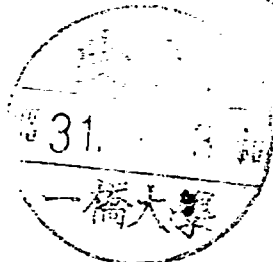
- Econometrics の方法について…………… 鈴木諒一 (97)

編集責任者代表

中山伊知郎

常任編集委員

喜多村 浩                      中山伊知郎  
久保田 明 光                  山田 雄 三  
寺 尾 琢 磨                      安 井 琢 磨



# 經濟分析の歴史 I

シュムペーター著 東畑精一譯  
A5判・上製函入 750圓

現代が生んだ偉大なる經濟學者シュムペーターの遺著であり、博學な知識と透徹せる理論を以て構成された經濟思想の歴史である。第一編は方法論、第二編は古代文明から十八世紀、第三編は古典學派の時代、第四編は現代までの科學としての經濟思想の消長を分析する。本卷は第一編および第二編の前半を収めたものである。(全七卷)

# 經濟變動の統計分析法

森田優三著 【岩波全書】  
260圓

新しい推測統計の方法による經濟變動の實證的分析方法をわかりやすく説明したもの。經濟統計學を學ぼうとする人々のための書であるとともに、計量經濟學の入門書としての役割もはたすように書かれている。推測統計理論の經濟學への應用は最近いちじるしい發達をとげているが、それを系統的にまとめたのは、日本では本書が初めてであろう。なお推測統計の豫備知識のない讀者のために、卷末にその簡単な概要を添え、遺憾なきを期した。

# 近代經濟學史

杉本榮一著 【岩波全書】  
280圓

古典學派崩壊のあとに生れた近代經濟學の諸理論の展開を、世界資本主義が一九世紀の後半以後に示した具體的な歴史の中で解明し、各學派・學者の立場に立つ正確な業績の紹介を行い、それぞれの經濟理論の論理的意義と價值とを判定し、あわせて現代經濟學の發展への展望をも與えようとした劃期的著作である。内容 經濟學史の本質と課題、近代經濟學の成立前史、一般的理論の展開、新古典派理論の展開、マルクス理論の展開、索引。

# 純粹經濟學 (増補版)

中山伊知郎著 【岩波全書】  
260圓

純粹經濟理論はすべての經濟現象の本質を解明し、經濟生活のよって立つ基盤を理解する鍵となる。それは經濟批判の基準であり且つその爲の科學的武器である。本書は極めて平明な敘述の間に經濟の循環、適應及び發展の問題を縦横自在に論じ、讀者にこの科學的武器を供する。増補新装に當り、「ケインズ理論」の一章を新に加える。内容 總論、經濟循環の理論、與件の變動と經濟の適應、經濟發展の理論、ケインズ理論への覚え書。

貨幣論 新庄博翁 著 【岩波全書】 230圓

國際本位制成立以後の本位貨幣の解明に重點をおき、信用貨幣と本位貨幣に分つて、貨幣と物價及び爲替の關係を追求する。この方面最初の勞作である

金融論 渡邊佐平著 【岩波全書】 280圓

豊富な歴史的知識を駆使し、嚴密な理論的構成をもって信用制度の諸機能を體系的に解明する。さらに銀行や金融政策にまで説き及んだ標準的な概論書



千代田區神田一ツ橋

振替東京 26240

季刊「理論經濟學」 第VI卷 第1,2号	編 集 者	理論經濟學編集委員 編集責任者代表	中山伊知郎
昭和30年12月20日印刷 昭和30年12月25日発行	発行者兼印刷者	東京都中央区日本橋本石町3の2	宮川三郎
定價 200円	印 刷 所	東京都品川区上大崎長者丸 284	東洋經濟新報社印刷工場
	発 行 所	東京都中央区日本橋本石町3の2	東洋經濟新報社

末  
て  
es  
に

# The Economic Studies Quarterly

Vol. VI

December, 1955

No. 1, 2

## The Leontief System

### Articles

- A Few Problems of Leontief Analysis ..... *Hidetaro Iyemoto* (1)  
Leontief's Input-Output Analysis and Walras'  
General Equilibrium Theory ..... *Michio Morishima* (8)  
A Recent Trend in Input-Output Analysis ..... *Hiroshi Furuya* (15)  
Three Notes on Inter-Industrial Relation Analysis ..... (23)  
*Shin-ichi Ichimura*  
*Ippei Sugiura*
- Currency Depreciation and the Balance of  
Payments; Exchange Stability Theory vs.  
Input-Output Analysis ..... *Ryutaro Komiya* (33)  
Input-Output Models and Market  
Tatonnements ..... *Masao Fukuoka* (46)  
Consumption, Investment and Economic  
Growth in the Leontief System ..... *Kenjiro Ara* (55)  
On Equilibrium in Leontief Models ..... *Ken-ichi Inada* (65)  
Non-Negative Matrices in the Leontief System .. *Takuma Terao* (74)  
*Iwao Ozaki*

### Book Review

- J. Timbergen : Econometrics ; G. Tintner : Econometrics ;  
L.R. Clein : A Textbook of Econometrics ..... *Ryoichi Suzuki* (97)

---

**TOYO KEIZAI SHIMPO SHA**  
(THE ORIENTAL ECONOMIST PUBLISHING Co., Ltd.)  
NIHOMBASHI, TOKYO, JAPAN

季刊  
理論經濟學

第VI卷

1956年4月

第3,4号

貧窮諸国の開発融資

—フリッツ・マハルプ—田口芳弘訳

経済発展と需要供給率

佐藤隆三

所得循環と市場構造

塩野谷祐一

拡張過程における所得効果と産  
出能力

早川泰正・佐藤和夫

資金の配分と投資計画

倉林義正

選好場概念による動的消費者行動  
理論確立への途

辻村好太郎

レオンティエフ・システムの動学  
化に関する若干の覚書

斎藤謹造

社会的厚生函数を中心とした厚生  
経済学の最近の発展について

柏崎利之輔

定 差 方 程 式

稲田献一

昭和二十四年二月十九日 日本国有鉄道特別承認雑誌第一五〇八号

東洋経済新報社

論文

- 貧窮諸国の開発融資……………田口芳弘訳 (103)  
 ——外国資本と国内インフレ——
- The Finance of Development in Poor Countries:  
 Foreign Capital and Domestic Inflation……………Fritz Machlup (112)
- 経済発展と需要供給率……………佐藤隆三 (124)
- 所得循環と市場構造……………塩野谷祐一 (134)  
 ——カレツキー体系の一解釈——
- 拡張過程における所得効果と産出能力……………早川泰正・佐藤和夫 (142)
- 資金の配分と投資計画……………倉林義正 (153)
- 選好場概念による動的消費者行動理論確立への途……………辻村好太郎 (160)  
 ——量的分析——
- レオンティエフ・システムの動学化に関する若干の覚書……………斎藤謹造 (169)

研究ノート

- 社会的厚生函数を中心とした厚生経済学の最近の発展  
 について……………柏崎利之輔 (176)

数学解説講座II

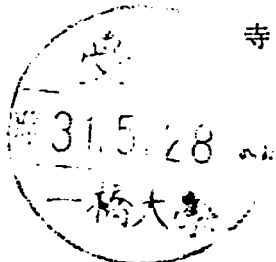
- 定差方程式……………稲田献一 (184)

編集責任者代表

中山伊知郎

常任編集委員

- |       |       |
|-------|-------|
| 喜多村 浩 | 中山伊知郎 |
| 久保田明光 | 山田雄三  |
| 寺尾琢磨  | 安井琢磨  |



4  
 も  
 を  
 を  
 は  
 た  
 う  
 り  
 の  
 基  
 礎  
 の  
 し  
 と  
 所  
 は  
 が  
 り  
 し  
 合  
 合  
 は  
 後  
 に  
 も  
 お  
 前  
 利  
 口  
 道

## VI 経済理論における応用

経済学においてえられる資料の多くはある一定期間のものが多く、すなわち時々刻々に変化する量の各時点における値は記録されず一定期間にわたる積分値が資料としてえられる。かかる資料の制約だけでなく経済量が時々刻々に変化する事なく、一定期間は維持されることもあるし、また経済主体の反応が時間のズレを伴って非連続的になされる等の理由から定差方程式が微分方程式や積分方程式に比べて、経済理論の中に含まれる比重が大きい様に思われる。殊に時系列分析によって経済構造を表わす方程式の係数の統計資料に最もよくあてはまる推定値を求める様な場合には微分方程式によって構造を表現したときには連続的に変化する資料を必要とし、且つ積分方程式を解かなければならない等の困難があるのに対し定差方程式によって構造を表わすときにはこれらの困難はない。函数方程式の理論としては微分方程式の方が進歩していて非線型のそれも、経済理論に応用される程に進んでいる。一方定差方程式にあつては非線型の理論は殆んどなされていない。その故に、非線型の定差方程式を用いる経済理論にあつてはその数学的な困難さの故に、充分な結論は得られない様である。しかし、経済の予測を含めて現実の経済への接近を試みるに当つては微分方程式は殆んど無力となる。ここでは定差方程式体系による方法が有力である。いずれにしても現実の複雑な経済構造を簡単な数学的に取り扱うる範囲内での定差方程式ないしは微分方程式によって分析するこ

とを企てる限り、その分析結果には自ら限界が存在すると思われる。

次に結びに代えて、定差方程式に関する文献をあげておく。最も高度のものとしては N. E. Nörlund, *Vorlesungen über Differenzenrechnung* (Berlin, 1924) があるが、これは経済学徒には余り有用とは思われない。P. M. Batchelder, *An Introduction to Linear Difference Equations* (Cambridge, Massachusetts, 1927) は平明に書かれている。経済研究のためには、J. R. Hicks, *A Contribution to the Theory of the Trade Cycle* (Oxford, 1950) の数学付録、および P. A. Samuelson, *Foundations of Economic Analysis* (Cambridge, Mass., 1948) の付録 II がよい。但し後者は定差方程式だけでなく、より一般的な作用素を用いた理論を展開している。なお、詳細な文献は N. E. Nörlund の書物の巻末にある。

(都立大学)

## 編集後記

前号から新たに数学講座を設け、毎号続けて、数式の解説的な展望を試みたいと思っています。本号ではその第 II 講として、稲田献一氏の定差方程式を掲載いたしました。

なお、第 I 講は、前号所収の寺尾・尾崎両氏の「レオンティエフ体系におけるマトリックス」が、それにあたるものですが、編集部の手落ちで「講座 I」の見出しが脱落していましたので、お詫びいたします。

# 増訂 経済学小辞典

大阪市立大学  
経済研究所 編

本辞典は、昭和二十六年発行以来高い学問的水準と清新な内容とによって、研究者にも実務家にも広く愛用されてきたが、このたび、近代経済学・マルクス経済学の両者における最近数年間の急速な進歩に応じて本文に厳密な検討と改訂とを加えるとともに、新たに二〇〇頁にわたる項目の増補を行い、「広義の経済学」の基礎概念の解明と、戦後の内外の経済事情の解説等に重点を置いて、全面的に内容を充実せしめた。また索引も全部組替えて訂正を施した。

**特色**

- ☆各時代にわたる経済的發展全般を解明した「広義の経済学」の辞典である
- ☆現代世界経済の基本動向が、二つの体制の比較対照において把握されうる
- ☆近代経済学とマルクス経済学両者の最新の發展水準に立って書かれている
- ☆各学派の特色が生かされ、それぞれの立場からの解説が併記されている
- ☆経済發展の各国別の特殊性が明らかにされている
- ☆豊富な内容がたくみに圧縮されて、体系的知識が容易に習得できる
- ☆一冊で経済学全般にわたる辞典とテキストの両者の目的にこたえうる

A 5判 クロース装  
上製函入 一四六二頁  
定価 一五〇〇円

## 経済学 岩波小辞典 経済用語

臨村義太郎・堀江薫雄編

世界経済が急激な変化發展を遂げつつある今日、産業各部門で使用されている用語は、おびただしいものがある。本辞典は、新しく作られたり、おびただしい経済用語に正確な説明を与えるため、第一線の実務家と経済学者との協力によって執筆編集されたものである。その項目は広く金融・為替・貿易・財政・株式・商品取引・保険・海運・経営・会計・労働などにわたり、その基礎的用語とともに最新の用法を収載してある。

小B6判(岩波全書判) 一八〇円

都留 重人編

経済学の新しい成果をとり入れながら、同時に専門外の一般の読者のため日常の伴侶となることをねらいとして編まれたもの。近代経済学とマルクス主義経済学の両者にわたって、その用語が適切に選択され分配されている点最大の特色。学生・社会人は勿論のこと、専門家にも充分役に立つ辞典である。教科書にも新聞にも既知として扱われている経済学の専門語や学説は、この本を座右におくことによって正確に理解できる。

小B6判(岩波全書判) 一八〇円



東京都千代田区神田一ツ橋

振替東京26240番

岩波書店

季刊「理論経済学」 第VI卷 第3,4号	編 集 者	理論経済学編集委員 編集責任者代表	中山伊知郎
昭和31年5月5日印刷 昭和31年5月10日発行	発行者兼印刷者	東京都中央区日本橋本石町3の2	宮川三郎
定価 200円	印 刷 所	東京都品川区上大崎長者丸284	東洋経済新報社印刷工場
	発 行 所	東京都中央区日本橋本石町3の2	東洋経済新報社



# The Economic Studies Quarterly

Vol. VI

April, 1956

No. 3, 4

## Articles :

- The Finance of Development in Poor Countries :  
Foreign Capital and Domestic Inflation ..... *Fritz Machlup* (112)
- Economic Development and the Growth Rates  
of Supply and Demand ..... *Ryuzo Sato* (124)
- Income Circulation and Market Structure  
—An Interpretation of Kaleckie's System .. *Yuichi Shionoya* (134)
- Income Effect and Output Capacity in the  
Process of Expansion..... *Yasumasa Hayakawa & Kazuo Sato* (142)
- Investment Criteria and Allocation  
of Funds ..... *Yoshimasa Kurabayashi* (153)
- Dynamic Theory of Consumer Behavior..... *Kotaro Tsujimura* (160)
- Some Notes on the Dynamic Leontief System ..... *Kinzo Saito* (169)

## Notes and Discussions :

- The Recent Development in Welfare Economics—  
Studies in Social Welfare Function.. *Toshinosuke Kashiwazaki* (176)

## Lectures :

- Mathematics (II): The Difference Equations ..... *Ken-ichi Inada* (184)

---

**TOYO KEIZAI SHIMPO SHA**

(THE ORIENTAL ECONOMIST PUBLISHING Co., Ltd.)

NIHOMBASHI, TOKYO, JAPAN